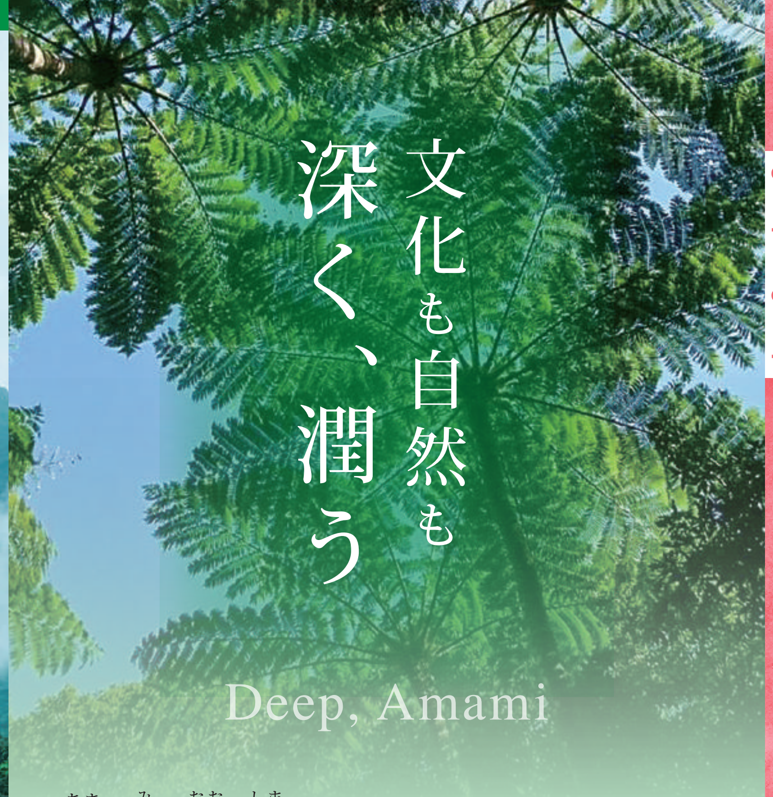
奄美大島観光ガイドマップ
加計呂麻島・請島・与路島

Amami-Oshima Tourist Guide
MAP

Take Free
ご自由にお持ち帰りください。

深呼吸する島
Deep, Amami

第6版



奄美大島（あまみおおしま）とは

鹿児島本土と沖縄本島のほぼ中間の洋上に位置する、亜熱帯性気候の島。その大部分を占める森林部には多くの生物が生息し、世界に誇る多様性と希少性を併せ持っています。深い山々に降る豊富な雨は、豊かな森を育みます。それはやがて栄養を含んだ川となって海に還ります。奄美大島はすべてが繋がり循環する、生命にぎわう豊かな島です。

ルリカケス

そんな島で暮らす人々は、自然に寄り添い、独自の文化を築いてきました。琉球、薩摩、アメリカと支配者が変わる歴史の波に翻弄されながら育んできたのは、なによりも人と人とのつながりを大切にする心。どこか懐かしいあたたかさを感じさせるこの島で、あなたはなにを感じるでしょうか。ようこそ、奄美大島へ。

諸鈍（しょどん）シバヤ

観光スポット

SPOT

ようこそ、新しい世界へ。

海、山、川、空。この島の全方位で出会うことのできる、多様性に富んだ自然。それは人々の暮らしのすぐそこに位置しているのが特徴であり魅力でもあります。島を歩けば、自然が創り出すいくつもの絶景があなたを出迎えてくれるでしょう。

MAP:H-3
加世間（かせけん）峠
高台にある見晴らしのよいスポット。島を挟んで東シナ海、太平洋の2つの海を同時に見ることができる。（龍郷町）

MAP:F-4
金作原
名瀬の山中にある、シダ植物類の群生など亜熱帯の森を間近に感じられるスポット。（奄美市名瀬）

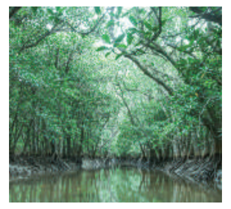
MAP:H-3
ハートロック
赤尾木東海岸の干潮時に現れる、海水をたたえたハート型の岩。パワースポットとして人気。（龍郷町）

MAP:F-3
大浜海浜公園の星空
夜は満天の星、夕暮れは東シナ海に沈む夕日、昼は青い海が美しい絶景スポット。（奄美市名瀬）

MAP:E-4
フクギ並木のトンネル
幸福を呼ぶと言われるフクギが、まるでトンネルのように連なった空間。（大和村）

MAP:J-2
あやまる岬観光公園
島の北東部に位置する景勝地。奄美十景の一つ。公園や海水プールも併設している。（奄美市笠利町）

MAP:C-5
峰田山公園
宇検村の焼内湾を一望する絶景スポット。4月には一万本のツツジが咲き誇る。（宇検村）


MAP:E-6
マングローブ
日本で2番目に大きいマングローブ原生林が広がる。カヌー散策が人気のアクティビティ。（奄美市住用町）

MAP:E-4
宮古崎
低木のリュウキュウササが群生する岬で、通称「ササント」。駐車場から徒歩約20分。（大和村）

MAP:D-8
ホノホシ海岸
荒波に削られた丸石が敷き詰める海岸。波に揺られて鳴る石の音に耳を澄ませて。（瀬戸内町）

MAP:D-9
諸鈍（しょどん）デイゴ並木
海沿いに樹齢300年以上の大きなデイゴの木が並ぶ。5月～6月ごろに真っ赤な花をつける。（加計呂麻島）

島の歴史に触れる

MAP:K-5
龍郷町りゅうがく館では各種資料を展示

西郷隆盛と愛加那

明治維新の立役者として知られる西郷隆盛は、潜居を命ぜられ安政6年（1859年）から3年間、奄美大島龍郷の地で暮らしました。愛加那と結婚し2児をもうけるなど、束の間の穏やかな時間を過ごした隆盛。いまもその痕跡をたどることができます。

龍郷町ホームページ▶

西郷小浜公園 MAP:H-3
隆盛が家族とともにもっとも長く暮らした居留地跡。家を囲んだサンゴの石垣が残っている。

愛加那の泉 MAP:H-3
愛加那が使っていたという井戸。隆盛が愛加那のために用意した畑の裏手にある。

南部に残る太平洋戦争の痕跡

太平洋戦争末期、沖縄への前進基地また本土防衛の最前線と位置付けられた奄美大島南部と加計呂麻島には、旧陸海軍の軍事施設や戦隊が整備・配備された。
終戦後、奄美大島は沖縄とともに米軍統治下に置かれ、本土復帰したのは8年後の昭和28年（1953年）である。

安脚場戦跡 MAP:D-9

掩蓋式観測所 MAP:A-7

MAP:C-8
旧陸軍弾薬庫跡

奄美せとうち観光協会▶

体験アクティビティ

ACTIVITY

自然の営みを享受する。

見るだけではなく体験することによって、より島の自然の豊かさを実感するはず。海や山、マングローブでの各種アクティビティのほか、大島紬の伝統的な染色法である泥染め体験や、古い時代には交易の品でもあった夜光貝で造るアクセサリー体験などもおすすめです。

その他の情報はWEBへアクセス

海
サンゴ礁が広がる透明度抜群の海で遊ぼう
1～3月はホエールウオッチングが楽しめる
アクティビティ　ダイビング／シュノーケル／SUP／サーフィン／ホエールウォッチング など

山
世界自然遺産の森を散策しよう
アマミノクロウサギなど夜行性の希少動物にはナイトツアーで出会うことができる
アクティビティ　トレッキング／ナイトツアー など

川・滝
森の中へ滝散策や川遊びもおすすめ
マングローブはカヌーツーリングを楽しめる
アクティビティ　カヌー／カヤック／トレッキング など

クラフト・文化体験
世界に一つの工芸作品づくり
アクティビティ　夜光貝磨き／泥染め・草木染め／大島紬着付け体験／三味線体験 など

島食

LOCAL FOOD

郷土食を味わう。

黒糖やトロピカルフルーツ、島野菜や魚介類など、奄美は太陽と潮風に育まれた魅力あふれる食材の宝庫。これらの食材と、島人の知恵が詰まった「シマジューリ（島料理）」は、どれも素朴で滋味深く、心と身体に優しい味わい。長寿の源である発酵食も豊富です。

その他の情報はWEBへアクセス

魚介類
天然魚のほか美しい海で育む養殖漁業も盛ん。瀬戸内町はクロマグロの養殖が盛ん。

油そうめん
そうめんにいりこや豚肉、野菜などを入れて炒めたもの。居酒屋でも家庭でも人気の定番メニュー。

トロピカルフルーツ
気候特性を生かし、季節ごとにさまざまな果物が栽培されている。

ヤギ汁
冬瓜などの野菜と一緒にヤギ肉を煮込んだスタミナ食。独特の香りはあるが、根強いファンが多い。

奄美黒糖焼酎
奄美群島だけに製造が許可されている黒糖原料の本格焼酎。糖分ゼロで風味豊か。

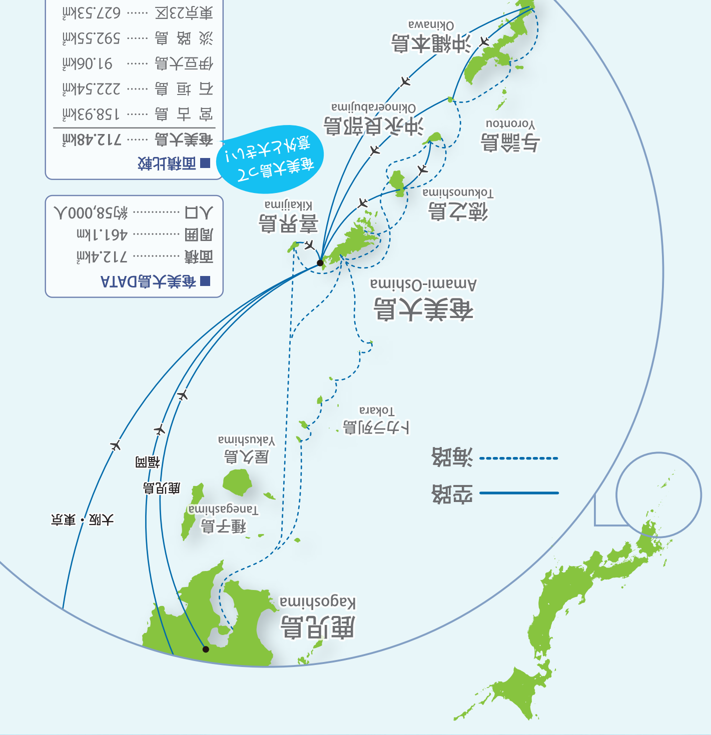
ミキ
サツマイモ、砂糖、米を混ぜてつくる発酵飲料。非常に栄養価が高く、夏場の栄養ドリンクとして好まれている。

黒糖を使用したお菓子
「ふくらかん」「かしゃ餅」など、黒糖の甘みと風味がいっぱいの素朴な菓子類。

粒みそ
豚肉やイカなどさまざまな食材と混ぜて、おかずとして食べる茶うけ味噌。ソテツでつくるソテツ味噌もある。

アクセス

ACCESS



■奄美大島DATA
面積 ………… 712.4㎢
周囲 ………… 461.1㎞
人口 ………… 約58,000人

■面積比較

奄美大島	712.48㎢
宮古島	158.93㎢
石垣島	222.54㎢
伊豆大島	91.06㎢
淡路島	592.55㎢
東京23区	627.53㎢
琵琶湖	670.40㎢

飛行機でのアクセス

出発空港	飛行時間	運航会社
羽田空港	約2時間半	JAL グループ
成田国際空港	約3時間	Peach
伊丹空港	約2時間	JAL グループ
関西国際空港	約2時間	Peach
福岡空港	約1時間半	JAL グループ
鹿児島空港	約1時間	JAL グループ Skymark
那覇空港 ※経由便	経由地による	JAL グループ
出発空港（奄美群島）		
喜界空港	約20分	JAL グループ
徳之島空港	約35分	JAL グループ
沖永良部空港 ※経由便	経由地による	JAL グループ
与論空港 ※経由便	経由地による	JAL グループ

フェリーでのアクセス

船名	航路
鹿児島～奄美群島～沖縄	
フェリー波之上 フェリーあけぼの クイーンコーラルプラス クイーンコーラルクロス	**鹿児島航路** 鹿児島（鹿児島新港）－奄美大島（名瀬港）－徳之島（亀徳港）－沖永良部島（和泊港）－与論島（与論港）－沖縄（本部港）－沖縄（那覇港）
フェリーきかい フェリーあまみ	**喜界・知名航路** 鹿児島（鹿児島本港北ふ頭）－喜界島（湾港）－奄美大島（名瀬港）－奄美大島（古仁屋）－徳之島（平土野港）－沖永良部島（知名港）
鹿児島～トカラ列島～奄美大島	
フェリーとしま2（村営船）	鹿児島（鹿児島本港北ふ頭）－口之島－中之島－諏訪之瀬島－平島－悪石島－小宝島－宝島－奄美大島（佐大熊港）
奄美大島～加計呂麻島	
フェリーかけろま（町営船）	**生間航路** 奄美大島（古仁屋港）－加計呂麻島（生間港） **瀬相航路** 奄美大島（古仁屋港）－加計呂麻島（瀬相港）
奄美大島～請島・与路島	
せとなみ（町営船）	奄美大島（古仁屋港）－請島（請阿室港）－請島（池地港）－与路島（与路港）

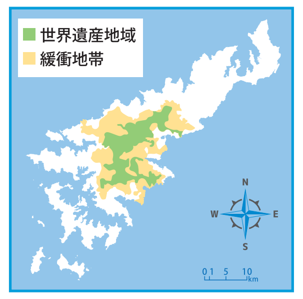
発行元
一般社団法人 あまみ大島観光物産連盟
〒894-0027 鹿児島県奄美市名瀬末広町14-10 AiAiひろば1階
☎0997-53-3240（営業時間 9:00～18:00）

世界自然遺産について

WORLD HERITAGE

未来へ受け継ぐ。

年間降水量3,000mmにもおよぶ恵みの水をたたえた湿潤な森は、大陸との結合・分離を繰り返した地史を反映し、多くの固有種を含む生き物たちを育んできました。世界に類をみない「生物多様性」の島、奄美大島は2021年世界自然遺産に登録され、この環境を次世代へつないでいくバトンが私たちに託されています。



世界自然遺産登録の概要

2021年7月「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されました。日本では5つ目、鹿児島県では屋久島に次ぎ2番目の登録。登録区域の総面積は4万2698ha（奄美大島は1万1640ha）。
琉球列島の一部である4つの島は、大陸からの分断と孤立などの長い年月の結果、多くの固有種や絶滅危惧種を含む独特で豊かな生物多様性があり、人類で守り受け継いでいくべき価値があると評価されました。

	在来種数			固有種数	
	日本全国	奄美大島	日本全国に対する割合	固有種数	固有種率
維管束植物※1	約7,000	1,307	19%	125	10%
哺乳類※2	108	13	12%	8	62%
鳥類	633	315	50%	2	1%
陸生爬虫類	72	16	22%	10	63%
両生類	74	10	14%	9	90%
陸水生魚類	約400	154	39%	9	6%
昆虫類	約30,000	3,254	11%	695	21%
陸水生甲殻十脚類	73	14	19%	3	21%

「奄美大島の確認種数」
※1：亜種・変種を含む。※2：渡り鳥及び迷鳥を含む。
出典：「世界遺産一覧表記載推薦書 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島（仮訳）（2019年1月 日本政府）をもとに作成」

突出して高い生物多様性

奄美大島はかつては大陸の一部でしたが、約1200万年～200万年前にかけて大陸から分断。その後の気候変動によって島々は分離・結合を繰り返し、生物相は島ごとに分かれ、独自の進化を遂げるなどして多様化してきました。大陸では絶滅した種が、奄美大島でいまも太古の姿のまま種を繋いでいっているものも多く見られます。（例：アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、ルリカケス等）
温暖湿潤な亜熱帯性気候は多様な動植物の共存を可能にし、国土のわずか0.2%に満たない島に、国内全体の生物種の約13%を確認するなど、極めて高い生物多様性を成しています。また鳥類やチョウ、ウミガメ、クジラなどさまざまな種の季節性移動の中継地や繁殖地にもなっています。
多くの生き物が暮らし、多くの生き物が訪れ、それぞれの生命を繋いでいる島、奄美大島。こうした環境を私たちはよく知り、学び、未来へと受け継いでいかなければなりません。

自然を感じる・学ぶスポット

MAP:E-6
奄美大島世界遺産センター
奄美大島の森とそこに棲む生き物がジオラマや映像で展示・表現され、まるでフィールドに出ているように体感・観察することができる。（奄美市住用町）

MAP:E-4
奄美野生生物保護センター
奄美の野生生物の保護・研究を行う環境省の施設。はく製やタッチパネル、図書などが充実していて、子どもも楽しく学ぶことができる。（大和村）

MAP:H-2
奄美群島国立公園ビジターセンター 奄美自然観察の森
植物や野鳥、昆虫などを観察することができる野外施設。屋内展示室もある。自然観察員によるガイドサービスは予約制、有料。（龍郷町）

守ってほしい知ってほしい、大切なこと5か条

1 夜道はのろのろ運転で～ロードキル防止
夜行性の野生生物が多いため、車にひかれてしまう事故が多発。山道は時速10km程度で、大きな道でもゆっくりと走行しましょう。

2 動植物の暮らしを乱さない～動植物観察の注意点
野生生物の営みを邪魔せず、離れたところから静かに観察をしましょう。ウミガメ類の産卵観察時は赤色灯を使いましょう。

3 動植物はその場から持ち出さない・持ち込まない～希少動植物の盗掘・盗採防止／外来種対策
むやみな捕獲・採取や外来種を放すことは、島の生きものへの脅威となります。

4 エコツアーガイドの利用
奄美大島の自然をより深く理解し、保全しながら楽しむためにエコツアーガイドをご利用ください。
奄美大島エコツアーガイド一覧▶

5 人と自然との共生こそが奄美の自然環境保持の秘訣
豊かな自然の恵みを取りすぎることなく、壊すことなく共生し生活文化を営んできた、島人の暮らしのあり方が改めて見直されています。

ほかにも奄美大島の自然を守るためのお願い
- ●金作原の利用ルールについて
  奄美群島認定エコツアーガイドが催行するツアー（有料）のご利用をお願いします。▶
- ●三太郎線周辺における夜間利用について
  夜間の車通行台数を制限しています。初めての人はガイド利用がおすすめ。予約をお願いします。▶

「生命にぎわう亜熱帯のシマ　―森と海と島人のくらし―」
2017年に誕生した「奄美群島国立公園」。そこで掲げられたテーマは「生命にぎわう亜熱帯のシマ　―森と海と島人のくらし―」。奄美群島の豊かさは、すばらしい自然のみではなく、人と自然が永く共生し、ともに暮らす独特の文化景観が残ることが特徴的とするものです。「環境文化型」国立公園と言われています。

島の動植物　－生命にぎわう亜熱帯のシマ－

主な観察時間 ☀／日中 ☾／夜間

- 猛毒を持つハブなどの咬傷被害を防ぐ為、むやみに草むらに入らないようにしましょう。
- 野生動植物の捕獲・採取は法律や条令で禁止されている種やエリアが多くあります。野生動植物の保護の観点から、持ち出しや驚かすなどの行為はしないようにしましょう。

アマミノクロウサギ ☾

ウサギ科の中でもっとも原始的な姿を残すもので、短い耳と手足、黒い毛が特徴。奄美大島と徳之島の固有種。
■絶滅危惧IB類
■国特別天然記念物

ケナガネズミ ☾

日本最大のネズミ。背中に6㎝もの長い剛毛が生えており、尾の先端が白いのが特徴。木登りが得意。奄美大島、徳之島、沖縄島固有種。
■絶滅危惧IB類
■国天然記念物

ルリカケス ☀

るり色と赤茶色のコントラストが美しい鳥。「ギャーギャー」というけたたましい鳴き声が特徴。奄美大島、加計呂麻島、請島固有種。
■国天然記念物

アマミイシカワガエル ☾

「日本で一番美しいカエル」とも言われる。渓流付近に棲み、「ピュー」という高く澄んだ声で鳴く。奄美大島固有種。
■絶滅危惧IB類種
■県天然記念物

ハブ ☾

猛毒を保有し島の生態系の頂点に立つ蛇。人々から恐れられるとともに、ハブがいたことで豊かな自然が保全されてきたという考えも。「山の守り神」とも言われる。

リュウキュウアユ ☀

本土のアユよりも小型で、奄美大島中南部の清流域に生息。沖縄では絶滅しており、天然個体が生息するのは奄美大島のみ。
■絶滅危惧IA類

ウミガメ類 ☾

毎年5～7月各地の海にウミガメ類（主にアカウミガメとアオウミガメ）が上陸し産卵する奄美の自然は、さまざまな生物の命を育む場となっている。
■絶滅危惧種

アマミホシゾラフグ ☀

2011年に奄美大島で発見された新種のフグ。体長約15㎝の体で、オスがメスを呼び寄せるために、海底に直径2mほどの複雑な円形の模様を描く。

サガリバナ ☾

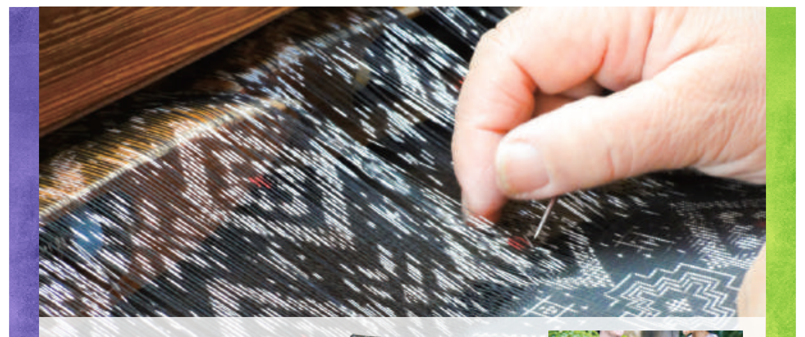
夏の夜に咲く花。一夜しか咲かず朝には散ってしまうため「幻の花」とも呼ばれる。奄美大島以南に分布。奄美大島はさまざまな生物分布の北限・南限でもある。

文化・工芸

CULTURE & CRAFT

島の文化にふれる。

日本本土、琉球国（沖縄）、そして中国などさまざまな文化を歴史の波とともに受け入れてきた奄美大島では、独自の文化が育まれました。
また豊かさと厳しさを併せ持つ圧倒的な自然とともにある暮らしのなかでは、恵みに感謝し祈り、共生する生活スタイル・思考が形づくられていきました。



本場奄美大島紬
Oshima-tsumugi

奄美大島で生まれた至極の絹織物。奄美大島製造で検査に合格したものには「地球印」認証が与えられる。泥染めによる艶やかな黒、奄美大島の自然をモチーフに描かれた伝統的な文様がなどが特徴。反物のほか、端切れ布や糸を使った小物がお土産に人気。

着付け体験や織り、泥染め体験もおすすめ

八月踊り
旧暦の八月に集落ごとに行われ、輪になって踊る。唄や踊りは集落ごとに異なり、伝承されている。

伝統行事
五穀豊穣、集落の繁栄などを祈る独特の伝統行事は今も各地で残り、集落で大切に受け継がれている。

シマ唄
島の暮らしの悲喜こもごもを唄う。特に唄のうまい人は「唄者（うたしゃ）」と呼ばれる。

しまゆむた（奄美方言）

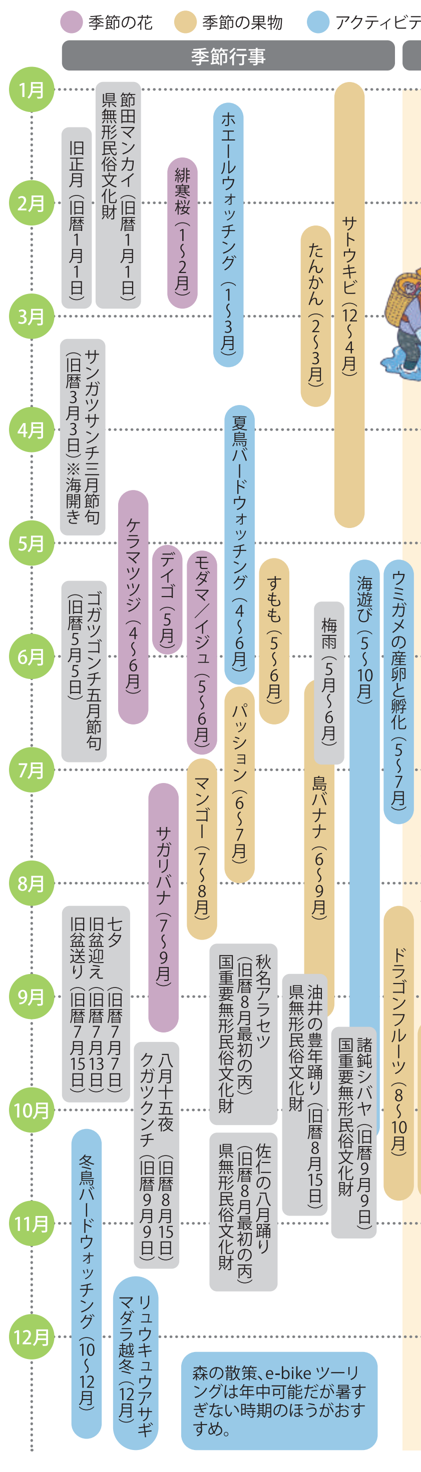
大和と琉球の言葉が混ざり、万葉集といった古い時代の表現も残ると言われる。島のなかでも地域によって異なる場合がある。

例えば、マガキガイを
北部「とびんにゃ」
南部「てらだ」
と言います

島の方言	標準語
うがみんしょーらん	こんにちは
まーさん	美味しい
ありがっさまりょうた	ありがとうございます
きょら	きれい。美人は「きょらむん」
なん	あなた
わん	私
はげー！・はげばーど！	わー！など、驚く時の感嘆詞

島のカレンダー

CALENDAR



森の散策、e-bikeツーリングは年中可能だが暑すぎない時期のほうがおすすめ。

イベント

1月
- 3日　奄美パーク　初春唄あしび
- 5日　紬の日
- 下旬　まほろば大和ウォーキング大会

2月
- 上旬　三太郎峠歩こう会

5月
- 9日・10日　黒糖焼酎の日

奄美の言い伝え
シロアリが3回飛ぶ（大量発生）と梅雨が明ける（6月ごろ）

6月
- 中旬　すももフェスタ
- 中旬　奄美民謡大賞

7月
- 1週目の土日
  奄美シーカヤックマラソン
  大浜サマーフェスティバル
- 夏休み最初の日曜
  ふるさと祭り（龍郷）

8月
- 初旬　奄美まつり（名瀬）
  やけうちどんと祭り（宇検）
- 中旬　みなとまつり（瀬戸内）
  あやまる祭り（笠利）
- 下旬　ひらとみ祭り（大和）
  三太郎祭り（住用）

奄美の言い伝え
11月に入るとハブは木に登るので頭上に注意

11月
- 中旬　加計呂麻島ハーフマラソン大会

12月
- 25日　日本復帰記念の日